

市美術館企画展

アルフォンス ミュシャ展

美しき時代の女神たち

会期 = 9月23日(祝) ~ 11月27日(日)

会場 = 市美術館 (☎ 324-6125)



〈夢想 シャンブノア〉1897年 カラーリトグラフ
OGATAコレクション

19世紀末から20世紀初頭のパリは、産業や科学技術の進歩、経済の発展を背景に人々が豊かな生活をおうか謳歌し、美しき時代「ベル・エポック」と呼ばれました。この時代にパリに移り住んだチェコ出身の画家、アルフォンス・ミュシャは、フランスの国民的女優だったサラ・ベルナールの演劇ポスターを手がけ、一躍脚光を浴びました。華やかな女性像と、渦巻く植物のモチーフを組み合わせた装飾を生み出し、本の挿絵や演劇をはじめとしたポスターなどの作品を次々に制作。ベル・エポックの中で巻き起こった新しい芸術「アール・ヌーボー」を代表する画家として、絶大な人気を誇りました。

本展では、ミュシャ作品の世界的な収集家として知られる尾形寿行さんのコレクションを中心に、ポスターや装飾パネル、香水瓶など珠玉の作品約300点を展示。「装飾パネルの女神たち」「ミュシャの挿絵の魅力」など6つのテーマをとおして、多彩な表現をご堪能ください。

期間中、学芸員によるギャラリートークを行います(予約制)。

美術館案内

●時間 = 午前10時～午後6時(金曜日は午後8時まで、入館は閉館の30分前まで) ●休館日 = 月曜日(10月10日を除く)、10月11日(火)、11月4日(金)、24日(木) ●観覧料 = 一般600円、高・大学生 = 300円、65歳以上と中学生以下は無料。10月28日(金)は県民の日のため観覧料無料

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、入館などを制限する場合があります



〈桜草〉(左)
〈羽根〉(右)
いずれも1899年 カラーリトグラフ OGATAコレクション

関連事業

いずれも、時間は午後2時～3時30分で、会場は南公民館(八島町)です。

申し込みは、9月15日(木)午前10時から、電話で市美術館へ。

コレクターによる講演会

●期日 = 10月23日(日) ●内容 = 尾形寿行さんによる、アルフォンス・ミュシャの作品と生涯についての話 ●定員 = 先着50人 ●費用 = 無料

ワークショップ「ミュシャのイラスト入門」

●期日 = 11月6日(日) ●内容 = アルフォンス・ミュシャの作品に登場する人物や花などの特徴をとらえて、ミュシャ風のイラストを描く ●定員 = 先着10人 ●費用 = 300円 ●その他 = 小学3年生以下は保護者同伴

染料植物園企画展

----- 木綿 - 植物から生まれる糸と色 -----



■会期 = 10月7日(金) ~ 11月27日(日) ■会場 = 染料植物園 (☎ 328-6808)

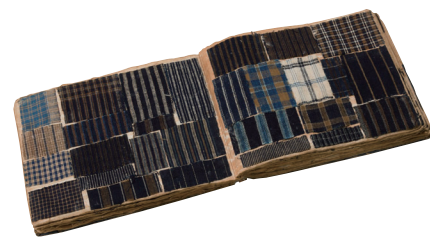


〈藍染羽織 紺地五本骨月丸扇文様羽織〉
江戸時代

染料植物園は、木綿をテーマにした企画展を開催します。
木綿は、現在私たちの暮らしの中で衣類などに使われている身近な素材です。日本では従来、衣服や布団に麻が使用されていましたが、江戸時代にワタの栽培が始まると人々の暮らしは様変わり。暖かく柔らかい木綿の普及は、生活を豊かにするとともに、木綿に染まりやすい藍をはじめとした染色の楽しみを生みました。
本展では、ワタから糸を作る糸紡ぎの道具や、木綿を藍染めした羽織などの染色品約50点などを展示。植物が生み出す糸・繊維や、木綿などを染める植物染料の色彩をご覧ください。

●日時 = 11月3日(祝)午後1時～3時 ●内容 = 木綿が草木で染まりにくい理由や、染めやすくする工夫などについて実演して解説 ●対象 = 高校生以上の人 ●定員 = 先着30人 ●費用 = 200円(観覧料は別途) ●申し込み = 10月1日(土)午前9時30分から、電話で同園へ

●時間 = 午前9時～午後4時30分(入館は閉館の30分前まで) ●休館日 = 月曜日(10月10日を除く)、10月11日(火)、11月4日(金)、24日(木) ●観覧料 = 一般100円、高・大学生 = 80円、65歳以上と中学生以下は無料。10月28日(金)は県民の日のため観覧料無料
実演講演会「木綿の染色・植物繊維と植物染料のフシギな関係」



〈縞帳〉江戸時代